

教育現場のオンライン化の推進

取りまとめ

- ・学習への効果、教職員の能力向上、学校運営の効率化という3つの観点から、教育現場におけるICT活用の目的と目標をそれぞれ明示し、そこに至るロジックモデルを実証的データや事例に基づいてそれぞれ作成することが必要である。
- ・それらのロジックモデルを成立させうるICT活用に係わる具体的方針(何を何のためにどう使うか)を示したうえで、その過程における問題点・課題を整理し、その解決方法と目標達成の時期を記したロードマップを作成する必要がある。
- ・ICT活用の進捗と上記3つの観点(学習への効果、教職員の能力向上、学校運営の効率化)からの目標に向けた達成度を客観的及び多面的な指標を設けることにより測定可能性を改善するとともに、情報の共有を進め、その結果に基づいてPDCAを実施しなくてはならない。
- ・端末の自宅への持ち帰りの可否の相違から地方公共団体間で成績格差が生じているという指摘があるが、その因果関係を調査したうえで、ICT活用においては地域間格差が生じないように努めるとともに、格差が生じた場合は是正をはからなければならない。
- ・教職員がICT能力を高めるための時間的・精神的余裕をもてるよう、学校における働き方改革にも注力すべきである。

・学習への効果、教職員の能力向上、学校運営の効率化は、教育方法の改善・創意工夫、組織改革、また教員免許制度の規制緩和・改革などさまざまな方法によって可能と考えられ、ICTの導入と並行して多角的な検討が求められる。

・新規事業の要求にあたっては、上記 3 つの観点(学習への効果、教職員の能力向上、学校運営の効率化)における目的など学校現場の向上に資するよう、ICT活用によるメリットのエビデンスのあるものに限るべきである。

・デジタル庁との連携により、その他の領域との協働による効果的な活用を進めてほしい。